

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 3 年 8 月 16 日
12 時 58 分 22 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051010 秘書課秘書係
事務事業 02230 表彰・褒章事務

所属長名 澤田 一樹
担当者 笠原 靖史
電話番号 0566-71-2201

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	006	行財政運営			
項目（施策）	001	1 9 行財政運営			
施策の方針	001	1 9 行財政運営その他			
事務事業	001	表彰・褒章事務			
事業期間	昭和25年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	市政功労者表彰条例、同条例施行規則、一般功労者表彰及び特別感謝状贈呈要綱、市長賞の交付に関する要綱等				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	発展祭（市政功労者、一般功労者、特別感謝状）、叙勲受章者への祝福、叙勲・褒章・表彰候補者の報告、市長賞交付（各種大会市長賞及び副賞の交付）等

【コスト】

（単位：千円）

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	4,785	3,117	4,454
事業費	2,265	597	1,814
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,265	597	1,814
人件費計	2,520	2,520	2,640
正規（人）	0.40	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	発展祭表彰者（35人） （5/12発展祭実施済） 叙勲受章者への祝福（22人） 市長賞交付（32件） 式典及び講演会入場者数（1,200人） 講演会申込者数（1,575人）	発展祭表彰者（30人） （式典及び講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） 叙勲受章者への祝福（28人） 市長賞交付（12件）	発展祭表彰者（30人） （5/9新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典は受賞者のみ、講演会はオンライン配信で実施） 叙勲受章者見込（28人） 市長賞交付見込（12件）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 3 年 8 月 16 日
12 時 58 分 22 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051010 秘書課秘書係
事務事業 02230 表彰・褒章事務

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	自治体独自の式典として開催し、表彰を行っています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	コロナ禍のため、式典及び講演会は中止しました。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	コロナ禍でも開催できる方法を検討します。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	近隣自治体においても同様の式典を行っており規模は適正です。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典及び講演会は中止としました。 令和 3 年度は、コロナ禍でも開催できる方法を検討し、式典は受賞者のみ、講演会はオンライン配信で実施しました。 令和 4 年度については、市制施行 70 周年記念となるため、盛大に実施できるようアフターコロナを見据えた「新たな発展祭」の形態を模索します。 なお、市政功労者や一般功労者等への表彰は、今後も継続して実施します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 3年 8月18日
10時43分02秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02233 広報あんじょう発行事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 松浦 道子
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目（施策）	006	1 6 参加と協働			
施策の方針	002	市民参加及び協働のまちづくりの推進			
事務事業	001	広報あんじょう発行事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	読みやすい広報紙を通じて、市政情報を容易に得ることができます。
手段	市役所各課、関係機関、団体から提出される原稿や広報担当者が独自に取材した内容を、特集・お知らせ・その他のページの記事とします。
事務内容	広報紙印刷：令和 2 年 4 月から毎月 1 日の 1 回発行、全ページフルカラー印刷 （令和 2 年 3 月まで毎月 1 日・1 5 日の 2 回発行、1 日号の表紙・裏表紙のみフルカラー印刷・他ページは 2 色刷り） 広報紙配布：令和 2 年 4 月から業者委託

【コスト】

（単位：千円）

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	62,541	111,704	127,280
事業費	43,326	96,269	112,430
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,638	22	0
一般財源	41,688	96,247	112,430
人件費計	19,215	15,435	14,850
正規（人）	3.05	2.45	2.25
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	広報紙の発行	広報紙の発行・配布	広報紙の発行・配布
	発行部数 1,809,000	発行・配布部数 929,150部	発行・配布部数 936,000部

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 3 年 8 月 18 日
10 時 43 分 02 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02233 広報あじょう発行事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
アンケートによる広報の満足度	%	75.00 86.36	75.00 83.87	75.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
2	理由	理由	2
		必要性	
		市民ニーズの有無	
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
3	理由	理由	1
		有効性	
		インターネットの普及により、情報ツールが多様化しています。	
		目標に対する進捗状況	
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
4	理由	理由	1
		効率性	
		事業の効率化・事業費の削減	
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
5	理由	理由	1
		公平性	
		事業規模・サービス水準	
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
	理由	理由	
		発行回数を月 2 回から月 1 回に変更しました。	
		事業規模・サービス水準	
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
	理由	理由	
		他の自治体も多くが月 1 回の発行としています。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	令和 2 年度は 4 月から月 1 回発行とするとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止の啓発のため、臨時号を 1 回発行し、配布しました。また、スマートフォンやパソコンから手軽に広報紙を閲覧できるアプリ等を導入しました。 今後も引き続き市民ニーズを捉えながら、必要とされる情報を適切なタイミングと手段で発信するとともに、読みやすい紙面づくりに努めます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02234 ホームページ（望遠郷）事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 松浦 道子
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目（施策）	006	1 6 参加と協働			
施策の方針	005	情報化の推進			
事務事業	001	ホームページ（望遠郷）事業			
事業期間	平成 8年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民、安城市の情報を必要とする人が
目的	ウェブサイトによりいつでも最新の情報を得ることができます。
手段	ウェブサイトにより、多量の最新情報を迅速かついつでも見られるよう提供します。
事務内容	市公式ウェブサイト「望遠郷」の保守・管理 掲載情報の更新

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		7,371	7,591	8,366
事業費	事業費	3,906	4,756	4,076
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	2,384	1,029	1,200
	一般財源	1,522	3,727	2,876
	人件費計	3,465	2,835	4,290
	正規（人）	0.55	0.45	0.65
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	最新情報の更新	最新情報の更新	最新情報の更新
	更新件数：9,111件	更新件数：11,616件	更新件数：10,000件

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 3年 8月18日
10時43分02秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02234 ホームページ（望遠郷）事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
トップページのアクセス件数	千件	1,000.00 1,088.00	1,000.00 1,669.00	1,000.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		市の情報を提供するウェブサイトです。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		インターネット普及により手軽にウェブサイトが閲覧できます。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		多くの人がウェブサイトを閲覧しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		常時SSL化によりウェブサイトのセキュリティを強化しました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		全自治体が市政情報提供のためのウェブサイトを運営しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	常時SSL化により、ホームページのセキュリティを強化しました。 今後もより多くの情報をタイムリーに市民に発信するため、新たな情報を掲載するとともに、適正な更新を行いながら事業を継続します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁

令和 3 年 8 月 18 日
10 時 43 分 02 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02235 市政情報提供事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 松浦 道子
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目（施策）	006	1 6 参加と協働			
施策の方針	001	1 6 参加と協働その他			
事務事業	001	市政情報提供事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 市政情報提供事業 ・ マスメディア情報発信事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	様々な媒体から、市政に関する情報を得ることができるようになります。
手段	・ ガイドマップ（日本語版）の作成 ・ 市政映画の製作 ・ 新聞、テレビ等報道機関への情報提供 ・ LINE による市政情報の提供
事務内容	ガイドマップ、市政映画の作成、報道機関との連絡調整、LINE による市政情報の配信 令和元年度から LINE を活用したセグメント配信のシステムを導入し、友だち（登録者）が必要とするジャンルの市政情報の提供を開始しました。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		10,131	7,848	14,582
事業費		3,831	2,808	4,022
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,831	2,808	4,022
人件費計		6,300	5,040	10,560
	正規（人）	1.00	0.80	1.60
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	・ ガイドマップの作成（日本語版5,000部、英語・ポルトガル語版各1,000部） ・ 市政映画の制作 1 回 ・ 報道機関への情報提供回数 542回 ・ LINE 友だち登録数 2086人	・ ガイドマップの作成（日本語版5,000部増刷） ・ 市政映画の制作 1 回 ・ 報道機関への情報提供回数 555回 ・ LINE 友だち登録数 4038人	ガイドマップの作成（日本語版5,000部増刷）、市政映画（令和 3 年度及び市政70周年）の制作、報道機関への情報提供回数 500回、LINE 友だち登録数 5500人、市制70周年市勢ダイジェスト作成

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 3年 8月18日
10時43分02秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02235 市政情報提供事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
市政映画へのアクセス件数	件	500.00 575.00	500.00 1,176.00	500.00 0.00
市政情報の新聞への掲載回数	回	800.00 992.00	800.00 971.00	800.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市政情報は市が提供すべきものです。	
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	市民の市政に対する関心は高いです。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	新聞記事掲載や市政映画公開等で市民が市政情報を把握できます。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	広報を開覧できるアプリの導入により情報取得手段を増やしました	
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	情報提供手段は他自治体と概ね同じサービス水準です。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和3年3月末時点でLINEの友だち登録者数は4000人を超えました。今後も必要とされる情報配信を継続し、あらゆる機会を捉えて友だち登録者数の増加に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02236 広聴事業

所属長名 澤田 一樹
担当者 松浦 道子
電話番号 0566-71-2202

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目（施策）	006	1 6 参加と協働			
施策の方針	001	1 6 参加と協働その他			
事務事業	002	広聴事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民の意見・提言等を
目的	施策等への参考にします。
手段	市民からの意見・要望を聴取する機会を設け、市民ニーズを把握します。
事務内容	ご意見BOX（切手不要の専用紙による）、市長への手紙（一般封書、葉書等による）、市長へのメール（ウェブサイトからのメールによる）、市長と語ろう あんトーク（令和2年度まで）、市長とティーミーティング、e モニター制度によるアンケート、市長とつながる安城eコネクト（令和3年度から）

【コスト】

（単位：千円）

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	10,181	9,544	11,772
事業費	1,361	1,354	1,872
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,361	1,354	1,872
人件費計	8,820	8,190	9,900
正規（人）	1.40	1.30	1.50
その他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	市長と語ろう あんトーク開催回数3 市長とティーミーティング開催回数7 eモニター制度によるアンケート実施回数15	市長とティーミーティング開催回数4 eモニター制度によるアンケート実施回数15	市長とティーミーティング開催回数7 eモニター制度によるアンケート実施回数14 市長とつながる安城eコネクトの実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁

令和 3年 8月18日
10時43分03秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001051020 秘書課広報広聴係
事務事業 02236 広聴事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
メール・ご意見ボク ス等の受付件数	件	350.00 684.00	400.00 1,008.00	500.00 0.00
市長と語ろう あんト ーク参加人数	人	60.00 61.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市政に関する市民からの意見を聴く事業です。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市民からの意見の多様化、件数が増加しています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	メールやご意見ボックス等による意見の件数が増加しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	eモニターの未回答者を整理し、事務の軽減を図りました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	市民の意見を聴く手段は他自治体と同様のサービス水準です。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	これまで集会形式で実施していた「市長と語ろう あんトーク」について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。 令和3年度からは、集会形式によらずインターネットを活用し、広く市民等へ市政報告を行うとともに市政への意見・提言を募集する「市長とつながる安城eコネクト」の実施に向け取り組みます。 「市長とティーミーティング」については、小規模人数での開催であることから、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで実施を継続します。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。